広報
さめがわ
1973
9月号
No.238
編集兼発行
鮫川村総務課
塙町 佐藤印刷所



高令者の皆さん！いつまでもお達者で

9月15日はさわやかに晴れ上つた秋空の好天気。鮫川村では中学校の体育館に437名の高令者が招かれ、盛大な敬老会が開かれました。

現住人口の減少は止みませんが、招待者の数は前年よりも増加し、いつも変らぬお元気で、お互の健康をよろこび合いました。

わが村では85才以上で県と村の敬老年金をうける方が32名、80才以上が115名で、内20名が90才以上という、まさに長寿の村を誇ることになりました。

どうかいつまでもご健康で、開けゆく社会の福祉を末長くお守け下さい。

- ⊙ 1日　交通事故ゼロ、歩行者優先の日
- ⊙ 10月1日　統一祭礼
- ⊙ 10月10日　第6回村民体育祭
- ⊙ 第3日曜日は『家庭の日』です
- ⊙ 1日・15日は農休日

今月の人口

（9月1日 現在）

人口	6,225	(＋4)
男	3,109	(＋4)
女	3,116	(　0)
世帯	1,197	(＋1)

こんにゃく生産者連盟誕生

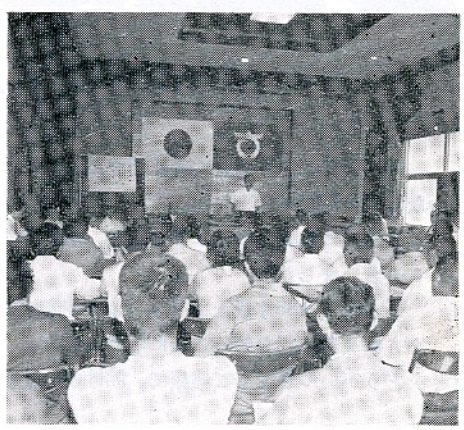
‖ 生産者全員加入を図る ‖

村のこんにゃく生産者約一〇〇名は、九月一日鮫川村公民館に集会をもち、地域特産物としてのこんにゃくの銘柄確立と生産者の経営改善、福利増進を目的として、鮫川村こんにゃく生産者連盟を設立しました。

この総会では規約ならびに、生産規模拡大、生産技術改善、流通対策、消費拡大などの事業計画と収支予算を決定し、次の役員が選任されました。

会長　石田卯子八
副会長　藤田秀男、関根信政
理事　北条久弥、関根乙夫、円井彦兵衛、森亨、渡辺朗、根本亀代次、白井邦光、青戸代吉、芳賀弘、蛭田覚、長井久男、大竹保
監事　鈴木公義、遠藤正雄

会員の資格はこんにゃく生産者又はこの趣旨に賛同するものとなっているので、まだ加入していない方は、この際加入されるようおすすめします。加入される方は会費二〇〇円を添え事務局（役場農政係）に申出て下さい。



祝辞をのべるこんにゃく試験場長

おめでた

八月

馬場　鈴木　庄悟　父鈴木重隆
戸草　藤田　幸樹　〃藤田一幸
広畑　吉田みどり　〃吉田和男

おくやみ

八月

広畑　藤田　陽子0才藤田卓三
岩野草　須藤近之助76才須藤芳一
滑石　上田タミ62才上田トシ子

世帯主

◇　◇　◇

歌会始の詠進要領

昭和四九年歌会始の要領が宮内庁から次のように発表されました

一、題「朝」
　朝の語をよみこむほか、あした朝明・ありあけ・しののめなどを用いてもよい。
二、詠進歌は、一人一首とし未発表のものに限る。
三、用紙は、半紙とし、毛筆で自書すること。
　詳しいことは、役場総務課におたずね下さい。

お知らせ

（29）

ある日の陳情

村長　石田卯子八

去る九月一〇日、北海道、岩手福島、茨城、栃木、大分、熊本の各県知事でつくっている広域農業総合開発促進協議会と阿武隈山系開発促進協議会初め一道六県の各地域毎に結成している協議会は、東京に会合して、農林省と大蔵省に熱心な陳情を行いました。

陳情の要旨は、本年度をもって基本調査の終るこれら地域の開発事業を実施するのに当って特に新しい制度と適切な対策を確立し特別の配慮のもとに、国の企図する大規模畜産基地の建設を進められたいというものです。

この中で特に強調していることは、先づ事業実施の機関として、新しく「農用地開発公団」を設置することであります。

これは広大な未利用地域、低利用地域を高度の飼料供給基地とする大規模農業開発事業であるから従来のような部分的局部的な補助事業では実施困難で、広大な面積の用地確保、莫大な資金の調達から建設の工事、家畜導入などを一体として実施する必要があるため建売り方式以外では不可能というべく、どうしても規模の大きい国の公団を実施機関とすることが望まれるからであります。

このことについて、既に農林省から大蔵省に明年度予算の要求が出されているようですが、一方では多すぎる公団を整理すべしという意見もあるので、実現までにはなお困難があるように思います。

その他の要望事項では、事業採択基準の緩和、国庫補助率についても新制度による高率補助が望まれ、畜産経営対策としては融資の利率低下、基礎家畜の保留制度、また高率国庫負担による基幹農道の建設などをあげております。

用地対策については、特に九州から入会地の問題を提起されましたが、私は阿武隈山系地域の特異性から国有林野の優先活用を強調しました。他の地域と異り、阿武隈地域の場合は、この実現なくして有効な開発はあり得ないのですから、今後皆様と共に熱心に要請して行きたいと思います。

広域農業開発の事業は、新しく大きい事業だけに、その行方にはいろいろ困難な問題はありますがこれまで五年の歳月をかけて国と県が調査を続けた事業であり、われわれとしては国、県の大きな力を導入する受け皿を整えることに先づ全力をつくすことが必要であります。

災害に備え水防演習

管内水防団員幹部全員集合
巡ケ作の鮫川べりで大演習

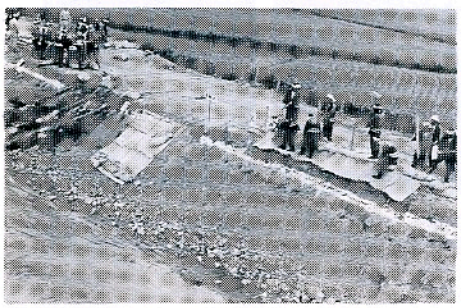
九月四日に東白川地方町村会と消防協会東白川支部の主催により赤坂中野巡ケ作地内の鮫川村診療所附近の河川で、東白川地方連合水防演習が行われました。

当日は、来賓や一般参観者多数の見守るなかで、演習団長（東白川支部長蛭田藤留）指揮のもとにきびきびした動作で、蔺張工、木流し工、積土俵工の水防訓練を実演し、参観者から大喝采をうけました。

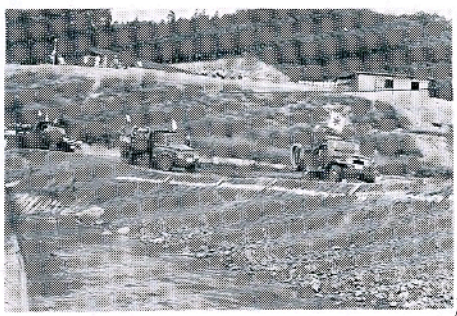
この水防演習は、二年毎に管内町村の順番制によって実施され、今回で第二二回目になりました。終つて演習本部長（白河建設事務所長）から、今までになく規律正しく、スムースに実施され、初期の目的が十分達せられたと講評があり、午後三時一切の行事を終了しました。



国旗が掲揚され、水防旗がひらめき、厳粛な開会式。演習統監、町村会長、地元村長のあいさつがあり、緊張した水防団員の姿が美しい。



2班ごとに分れ、木流し工、蔺張工積土俵工の訓練が迅速確実に行われました。



警鐘が乱打され、消防自動車を先頭に、トラック2台に水防団員が分乗して、堤防欠かい場所に直行……。

※※※

＝交通安全県民大会で表彰＝
大楽氏に交通功労彰
穂積氏に優良運転者彰

去る九月六日福島市の県文化センターで交通安全県民大会が盛大に開催され、席上本村の大楽勝男氏と穂積満氏が表彰されました

大楽勝男氏は現在交通安全協会鮫川分会長、鮫川村交通対策協議会の副会長で、永年にわたる地域の交通安全対策に尽された功績を認られたものです。また穂積満氏は、鮫川タクシーの運転手として二〇年間も無事故で通してきた優良運転者で、特に県協会長から表彰されたものです。



県交通安全協会長表彰をうけた穂積満氏

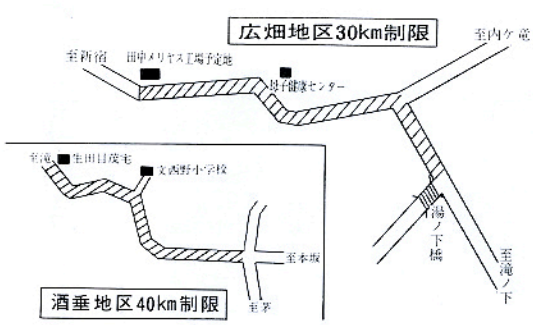


県知事から交通功労者表彰をうけた大楽勝男氏



◉広畑・酒垂地内速度制限
＝交通規制を守りましょう＝

今まで、新宿、道少田地内が速度規制（三〇㎞）になつていましたが、九月一三日から新たに広畑地内（三〇㎞）・酒垂地内（四〇㎞）が交通規制になりました。



◉スクールゾーン設定決る

鮫川村交通対策協議会では、子供を交通事故から守るため、鮫小を中心にスクールゾーンを設けていましたが、今年の秋から、西野小学校・渡瀬小学校及び青生野小学校を中心に、約五〇〇m以内の区域をスクールゾーンに指定することにしました。

九月末日までには、それぞれの区間に標識を立てゝ運転者に注意を促すことになりました。

スクールゾーンの区間は必ず安全運転を励行し、歩行者特に子供を交通事故から守るよう心がけなければなりません。

交通対策協議会では、西山小学校及び富田小学校周辺も逐次スクールゾーンに設定する予定です。







ワーイ……たのしいなア!!

子供たちがたのしみにしていた保育所恒例の夏祭り花火大会が、8月31日の夕方行われました。ゆかた姿の子供たちにお母さんたちも参加し、歌やおどりもにぎやかな花火大会で、去りゆく夏の夜のひとときを楽しくすごしました。

～あなたを守るヘルメット～

二輪車に乗るときは必ずヘルメットをかぶろう

☆秋の全国交通安全運動！☆
九月二一日から一〇日間

一時停止について

車輌等は、交通整理が行われていない交差点等に一時停止の標識がある場合は、停止線の直前（停止線がない場合は交差点の直前）で一時停止しなければなりません

これは交差する車輌を妨害しないよう、または交通事故を防止するために規定されているものですが、この一時停止違反が目立つています。

一時停止をしない場合、反則金だけでは済みません。一歩間違えば、生死にかかわる大きな交通事故をひきおこしかねないのです。

家族を不幸にさせないためにも必ず規則を守つて下さい。

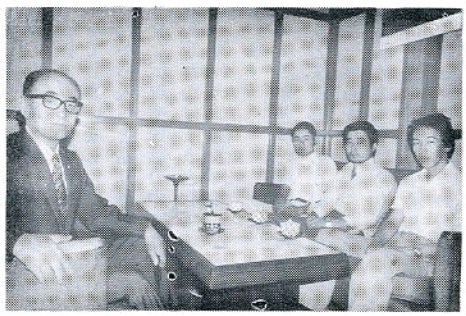
廃車した自動車は運行できません

山間地の部落で廃車された自動車が運行されているのを見かけますが、廃車になつてナンバープレートのない自動車を農道、林道、その他の道路を運行すると、道路運送車輌法並びに自動車損害賠償責任保険法違反により処罰されます。（懲役六か月または罰金五万円）

正しい手続で、正しい運転をしましょう。

（中野駐在所）

海外農業研修生元気に帰国



八月二六日、アメリカ合衆国、カリフォルニア及びハワイ州の農業経営実地研修のため羽田を出発した大字渡瀬の蛭田守君・小松次男君・木之内茂雄君は九月一〇日元気に帰国し、村長に帰国のあいさつを行いました。

村長室で、只今帰りましたと元気にあいさつ。

米国加州の農業を見て

蛭田守

一六日間の研修は、大部分が日系人の農場で、花、野菜、果樹、畜産等二〇*ha*～二六〇〇*ha*位の大農場でした。経営者の話しを聞いて、まず感じたのは、俺は日本人だアメリカ人などにまけていられないという気はくでも我々が逆に励まされる様でした。

アメリカの農業を見聞して

小松次男

一六日間の研修を終え、無事帰国致しました。さて、私達は短期間でアメリカ（カルフォルニア州）の農業の一部しか見ることができませんでしたが、第一に肌に感じたことは、農業も企業的であることです。農業というより完全に企業化された生産工場という印象であつた。販売については特に組織はなく、自分で市場やマーケットの開拓を行つている。普及事業で日本と異つている点は、研究機関と農場が密接につながつていることである。ファーム、アドバイザー（普及員）が試験場と常に連絡を取り農場における色々な問題の解決・相談にのつている。農民自身も決して保護されたものではなく、常に農民自身で研究し、解決していかなければならないではないかと考えさせられました。働くことばかりが美徳ではないので生活にゆとりをもつて楽しむ余裕を作り出すべきであると思いました。

大人の国アメリカ

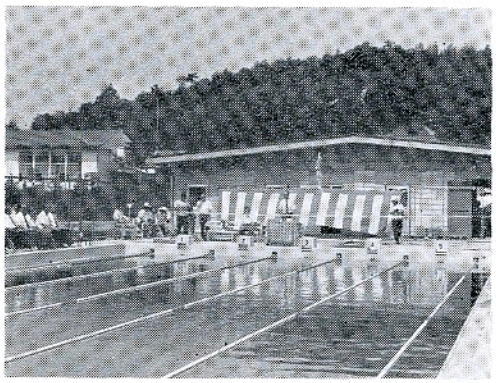
木之内茂雄

私達は八月二六日午後四時半に羽田を出発し、サンフランシスコに八月二六日午前九時五〇分に到着、研修旅行に第一歩をふみだしました。

まず第一に感じたことは、圃場農業機械、道路など何をとつても日本と比べてアメリカは大人の国ということを自分の目で感じとりました。

視察の方は日系人農場中心に回つたのでそれほど言葉の不自由はありませんでしたが、一番困つたのはドルの使い方になれていないため、自由行動になつて食事をとるにも買物をするにもまごついて困つたこともありました。

研修期間が一六日間という短い期間だつたのに夢中で過ごしてきたような感じです。



青生野小にプル完成

村では計画的に屋体やプールを建設していますが、48年度は青生野小に村で3番目のプールを建設しました。8月10日に完成式プール開きが行われ、水あそびのできなかつた児童たちはさつそくとび込み、よろこびの声がいつまでも高くひびきました。

※　※　※

お知らせ

■町村職員採用候補者
初級試験■

次により試験が行われるので希望者は申込んで下さい。

記

受験資格■昭和二二年四月二日以降に生れ高校以上の学校を卒業した者または明春卒業見込の者
試験期日■一一月一八日（日）
試験場所■福島市・郡山市
申込期間■一〇月一日～一〇月三一日

申込用紙は役場総務課にあるので受験希望者は申出て下さい

畜産情報

8月市場子牛取引価格（8月9日）

項目		市場総数	鮫川村
出場頭数	雌	53頭	10頭
	雄	40頭	14頭
	計	93頭	24頭
平均価格	雌	298，639円	329，810円
	雄	256，187円	258，885円
	計	279，979円	288，437円
最高価格	雌	450，000円	450，000円
	雄	281，000円	281，000円
最低価格	雌	223，000円	251，100円
	雄	225，100円	235，000円
最高価格牛出品者	雌	関根一兄	関根一兄
	雄	関根清次	関根清次

「ふるさとの民話と伝説」

郷土資料第一集予約受付中

　囲炉裏がとろとろと燃えるいろりを囲んで、祖父や父が藁細工をしながら話してくれる伝説に耳をかたむけ、ねむけも忘れた幼ない瞳をかがやかせて私たちは育つて来ました。また夜長の炬燵で祖母や母が、縫物や古着のほどきものをしながら話してくれた遠い昔の民話に、いつしかうとうとと眠りに落ちてしまつたことを思い出します。

　最近私たちは、このようなゆつたりした心境で幼い過ぎ去つた日々を振り返ることはまれなこととなつてしまいました。

　人から人へと語り継がれてきた素朴な伝説や民話の中には、現代人が忘れかけようとしている大切な「何か」が隠されているように思います。

　この渇ききつた現代から消え去ろうとする郷土の民話や伝説に、もう一度目を向けて、ふるさとの心を暖めようではありませんか。

　村を遠く離れて生活している人々や親せきの方々にお送りして、何時もよきふるさとを忘れないように思い出してもらいたいものです。また若い人々との話し合いのいとぐちに、一戸で一部は是非備えておきたいものです。

　そんな意味で、村内の人がつくり村内に語り継がれて来た六〇余編を収録、「ふるさとの民話と伝説」と題して、石田村長が序文を書き、村公民館が編集発行することにしました。

　大きさは菊版型で約一〇〇頁に亘り、発行部数は三〇〇部の限定版とし、本年十月初旬発行の予定です。非売品ですが希望者には印刷実費三百円位でお頒け出来ますので、村公民館にお申込み下さい。

さぎり荘だより

　老人保養センター「さぎり荘」は、本年四月一日に営業を開始してから六か月になりますが、村内村外から予想以上の利用者がありよろこばれております。

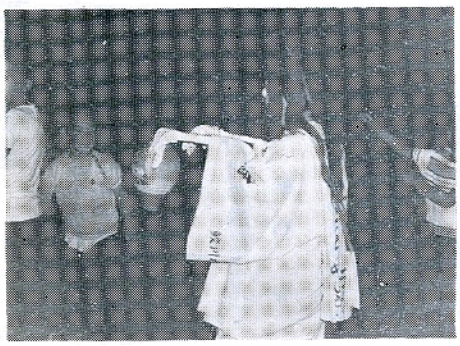
　老人の方々の憩の場として、楽しく利用していただくよう職員一同頑張っていますが、職員数も少なく、男子職員のため利用者の方にご不便をかける点もあろうかと心配しています。

　また構内の環境美化のため多くの方々から樹木等ご寄附をいただきました。厚くお礼申し上げます

◉月別利用状況（延人数）
四月＝五四四人・五月＝四四四人
六月＝四九五人・七月＝四八三人
八月＝五六五人・

◎備品寄贈者芳名
掛時計一個　棚倉町斉須みどり様
金二、〇〇〇円　塙町舟木正一
井坂浅之助様
雑布二〇枚　東石老人クラブ婦人部様
つつじ外三〇本東石老人クラブ様
庭木赤松一、エゾ松一　円井七之助様
つたうるし外二本　下重重信様
玉椿五〇本　大塩矢吹一男様
柳・桜外二〇本　中野長生会様
台湾猿一匹　森一一様
海亀一匹　前田幸正様

　外に塙町の吉成道雄様から、鮫川村の各老人クラブ活動費に三〇〇〇円宛計二一、〇〇〇円の寄附がありましたので、それぞれのクラブに差上げました。



盛大に仮装盆踊大会

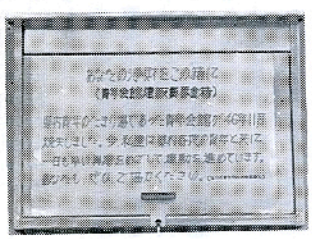
　8月15日と16日の2日間、鮫川村商工会青年部（部長 白坂真平）主催でにぎやかに仮装盆踊大会が催されました。遠く夜空にコダマする太鼓の音は、昔も今も変りなく人の心をそゝるものです。

　今年はお盆にふさわしく「お岩さま」も現われ、大人から子供まで大勢の方々が時のたつのも忘れ踊りを楽しみました。

青年会館再建にご協力を

　県内青年のたまり場であつた青年会館（福島市舟場町）が、四六年一一月焼失しました。

　今、私たちは、県内各地の青年と共に、青年会館の一日も早い再建をめざして会員カンパを中心とする運動を進めております。一方村公民館の玄関に募金箱を設けましたので、来館のおりには、あなたも、ぜひご協力くださるようお願いします。（鮫川村青年団体連絡協議会）



募金箱

<と><う><け><い>

県統計大会で表彰

　九月六日に須賀川市体育館で開催された第二三回大会で永年にわたり統計調査に尽力された次の方々が表彰され感謝状を贈られました。

　県統計協会長表彰…宗田貞治、県統計協会長感謝状…矢吹一二、石井清重郎、鈴木孝雄

一〇月一日 住宅統計調査

　この統計調査は、住宅関係の諸施策に必要な統計をつくるためのもつとも基本的な調査で、昭和二三年以来五年ごとに行なわれており、今回はその六回目にあたります。この調査によつて、わが国の住宅の実情が地域別に明らかにされ、その結果は国や都道府県などが立案、実施する住宅建設計画、都市計画、地域開発計画、環境整備計画などの基礎資料として用いられます。

　この調査は抽出調査で本村では次の三調査区の全戸が対象になつています。九月二四日から調査員が訪問し調査票を配付しますのでご協力をお願いいたします。

　緑川利清（道少田、伏木田、宿の入、真坂、取上、滝平）舟木誠也（草牛、蕨平、石の花、寅卯平）石井清重郎（中沢、伊柳沢）